



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和7年4月1日

企業・団体名 株式会社HARITA
代表者名 代表取締役 張田 真

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 社員が能力を最大限発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境を整備する</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員各員の業務負担と時間外労働を減らすことを目的に、DXでの業務改革を行い計画期間内で総因数を3%程度増加させる。⇒ 1ヵ月に1回社内DX会議を行いDXでの業務改革の情報と進捗を随時共有 ノーギャラデイを設け、生産性の向上を図る⇒ 営業グループは毎週水曜日をノーギャラデイと定め実施する 男性社員を対象にした出産時及び育児に関するリーフレットを作成、社内インストラ上に周知・配偶者が出産した男性社員を対象にした相談窓口の発足及び 利用を促進⇒ 社内リーフレットの作成、社内インストラ上で周知完了、期間中3人の男性社員が育児休暇取得。 (NEW) 仕事を離れて従業員の心身のリフレッシュを図り、仕事に対して前向きに取り組める環境を作ること。⇒2024年7月1日より、生理休暇手当と子の看護休暇手当を導入
2	<p>【目標】 次世代を担う若者の育成支援を行う</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> (NEW) 新入社員の定着に向けて、制度を確立する。⇒メンター制度（配属先以外の先輩社員）とエルダー制度（配属先の先輩社員）両方を導入し、新入社員の心理的サポートを実現。 インターンシップの受入体制を整備し、受入を拡大する⇒社内の受入体制を整備し、5日間のインターンシップを年3回開催と、1day就業体験の実施。 環境やリサイクルの理解を深める為、出前授業や工場見学を最低年2回行う⇒対面での産学連携教育を実施し、随時HPやTwitterで公開。年3回実施。年5回以上の新卒向け会社見学会の実施。 サブリーダーチャレンジ等、キャリアアップの機会創出⇒サブリーダーチャレンジへ13人の挑戦希望があり、社内キャリアアップ研修を実施
3	<p>【目標】 高品位なリサイクル材をつくり、資源循環を促進する</p> <p>【実施状況】 アルミニウムスクラップのアップグレードリサイクルを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な目標値は50 t /年以上とする 従来の希釈を中心としたカスケードリサイクルではなく、製品to製品の水平リサイクルや従来より高付加価値な製品へ再生材を提供する⇒①サッシT0サッシの継続、 破碎選別技術を活かし樹脂付サッシ屑をサッシメーカーの炉前材に加工。 継続実施によりアルミ資源の高度循環とCO2排出量の削減に貢献⇒ ②安定した成分値のアルミ再生原料の量産により販路拡大、アップグレードの提案 原料管理から生産プロセスの見直しにより、高品質素材を製造、アルミ素材メーカーの再生材使用比率向上に貢献⇒③企業コンソーシアム構築にてアルミスクラップの高度循環利用を推進、企業連携によるGHG排出削減を検討 大手ゼネコン、アルミ素材メーカーとの企業コンソーシアム構築による循環価値創造への取組開始

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。